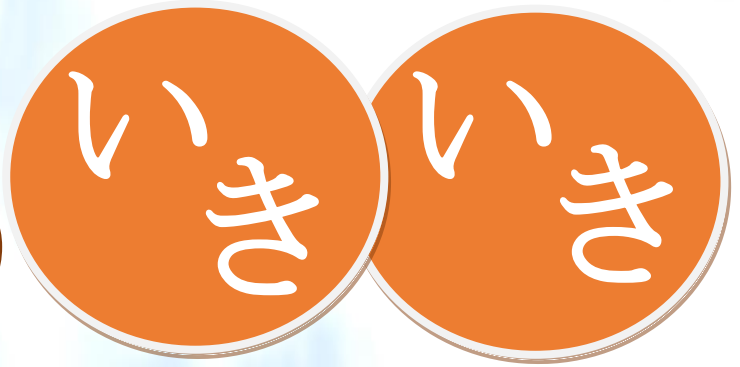


地域の支えあい活動や介護予防活動をご紹介します

見~つけた!

地域の活動



Vol.24

2018年7月発行

こよりがつなぐ地域の絆

~あったかふれあいセンターアルメリアの活動~



今回の地域のいきいき活動は、あったかふれあいセンターアルメリアの「こより」の活動を紹介します。
あったかふれあいセンターアルメリアは、高齢者や障害者など世代を超えた共生型の集いの場や地域の中で支援が必要な人やその家族の相談機関として駅前町に拠点を構えています。空き家を改修した建物を使用しており、まるで自分の家に友人といるような感覚で過ごすことができます。
様々な世代の人が集うアルメリアでは、今の時期、七夕飾りなどに使われる「こより」を作る作業を行っています。

取材にお邪魔した日には、集まった女性陣10名程が慣れた手つきでせっせとこよりを縫っていました。「幼い頃はこよりを縫ることも遊びの一つだった」と昔話にも花が咲きますが、手は止まらず、あつという間にたくさんこよりが完成します。
完成したこよりは、数年前から市内の保育所に寄付されています。「自分の作ったもので子どもたちが喜んでくれたら嬉しいね」と話す利用者の言葉どおり、こよりは園児たちの願い事を吊るす短冊と笹をつなぐ役目を立派に果たしていました。
利用者や園児が直接交流したことはないのですが、こよりが、「誰かの役に立たい」という利用者の思いと未来を担う園児たちの願い事を見えない絆でつないでいるように感じました。



おばあちゃんたち、いつもありがとう!

↑市内の保育所に飾られた短冊とそれをつなぐこより